

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果について

枚方市立中宮中学校

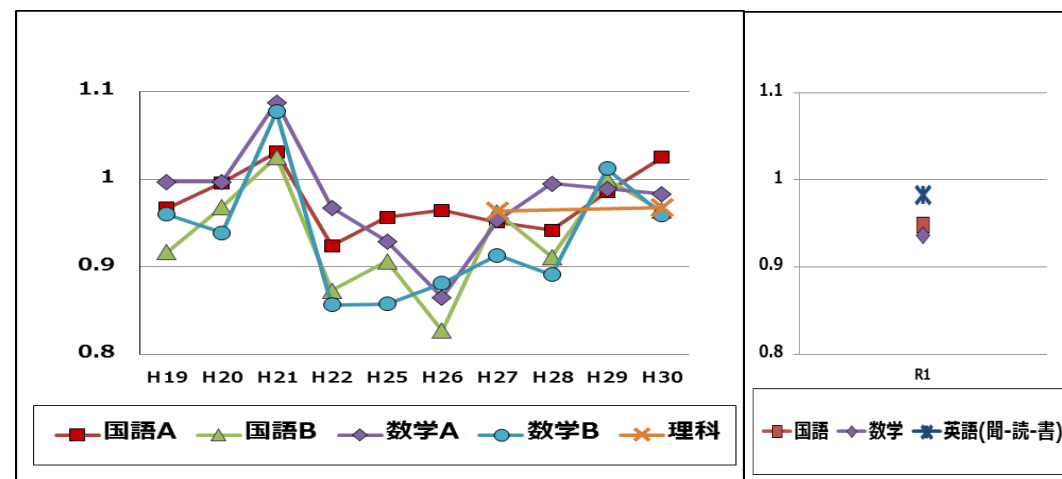
文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況をお知らせします。結果によると、生徒の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。
（※今年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。



< 学力調査結果の概要 >

○国語について

→ まだまだ読解力が不足していると思われます。特にいくつかの資料を読み取ることに難があるようです。文章、活字に触れる機会が不十分であることを示した結果だと思われます。

○数学について

→ 今回の結果は、「練習不足」が 1 つの原因であると考えられます。活用力ももちろん大切ですが、出来ている設問とそうでない設問を比べたとき、反復練習が少なかった分野が出来ませんでした。

○英語について

→ 「リスニング」の結果から考えると英語に慣れてきた生徒が多いのは事実ですが、文法の理解が不十分で正しく英作文が出来ない生徒も多かったと思います。

※本調査は、平成 19 年度から実施されています。

※平成 23 年度は中止（東日本大震災）、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

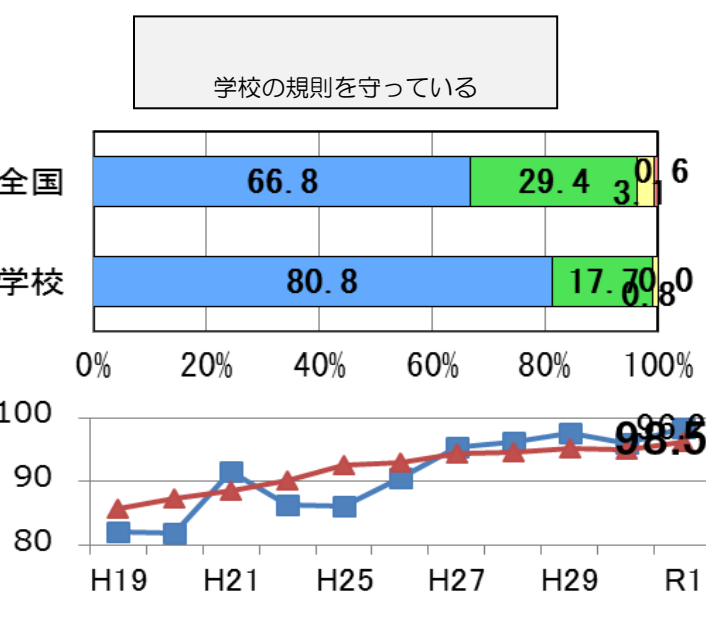
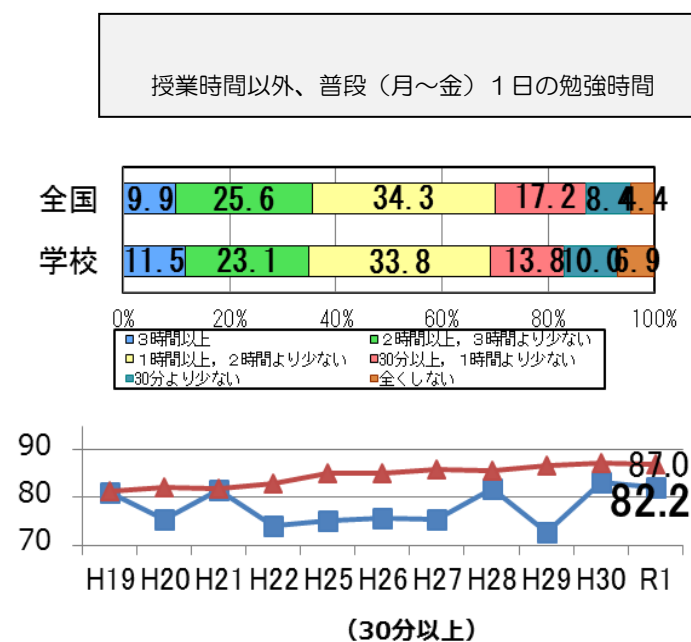
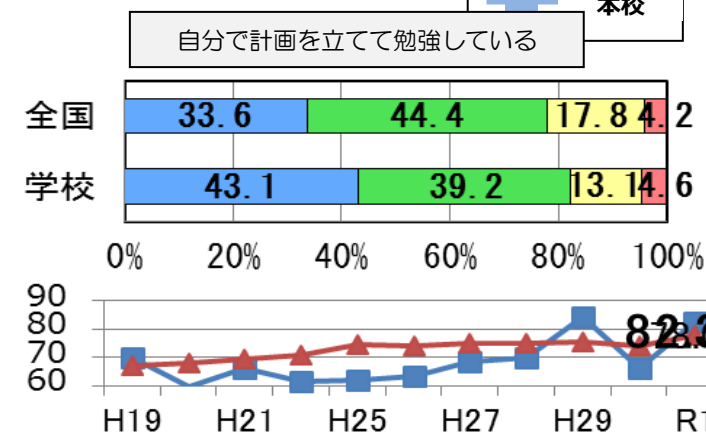
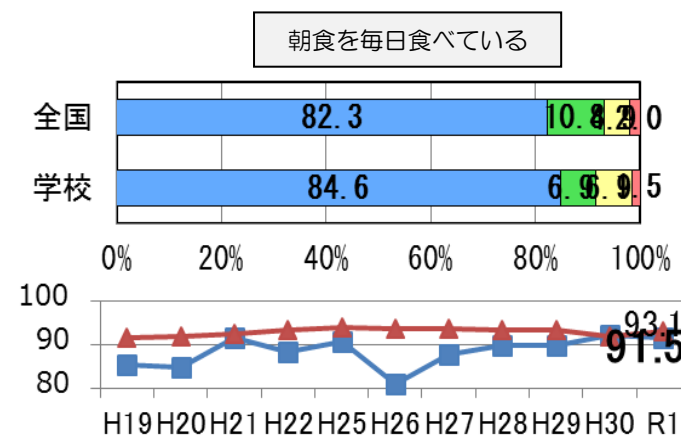
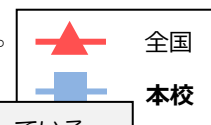
※英語の「話すこと」調査は、全国で実施していない自治体がある等、【参考値】として公表されることから、対全国比は掲載していません。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



< 質問紙調査結果の概要 >

学校生活、授業についての各質問に対する肯定的な回答は、ほとんど、全国平均よりも高く、右肩上がり続けており、学習規律や授業改善が生徒たちにきちんと受け止められていると考えています。しかし、家庭学習の時間や読書時間等の設問の結果を見るかぎり、やはり、保護者の皆様との連携が、今まで以上に必要だと思われます。学習内容の定着には家庭での学習が必要不可欠です。

学校でも様々な工夫をしましてまいりますので、ご協力よろしく申し上げます。

まとめ

日頃から活用問題や、グループ学習に取り組んできたことは、一定の成果を生み出していると考えています。しかしながら、やはり基礎・基本の理解が不十分な生徒も数多くおり、そういったことが、全体としての結果に表れていると思われます。今後、これまで以上に、家庭学習の充実も含めて、そういった生徒の学力向上に尽力していく必要があると考えています。

【詳細について】

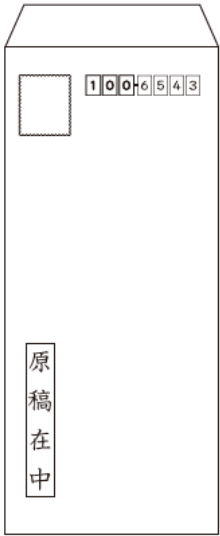
教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】

封筒の書き方を理解して書くことができるかどうか



※左の姓は、丁寧に控つてもかまいません。姓を必ず必ず姓を用紙に書くをさ。

条件1 封筒の書き方を理解して書くことができるかどうか

条件2 封筒先に団体名で「様」を記入し「御中」と書くこと。

四 あなたは、「封の広さ」への投稿で封筒の書き方を学んでいます。全国中学生新聞に示されている封筒先の名前住所、次の条件と条件にたがって、封書でていねいに書きなさい。なお、自分の名前住所は所は変です。

	正答率	無解答率
本校	59.2	7.7
全国	56.8	5.6

（考察）

封筒やはがきの表書きについては、年賀状やお礼状の作成に取り組んだ成果が見られました。

成果があった一方で、「御中」の付け忘れや、問題用紙に掲載されていた「メールアドレス」などの余計な情報を書いている解答も散見されました。

日常生活に直接つながる学習内容であるため、年賀状や職業体験のお礼状の作成など、度々授業で扱い、丁寧に指導していきたいと考えています。

【課題】

話し合いをする



	正答率	無解答率
本校	一. 74.6 二. 58.5 三. 56.2	一. 0.8 二. 0.8 三. 14.6
全国	一. 80.4 二. 69.7 三. 60.4	一. 0.2 二. 0.3 三. 8.9

（考察）

話し合いについては、国語の授業だけでなく、他の教科の授業や総合的な学習の時間、特別活動の時間にも行っており、他者との対話を通して自分の考えが深まると実感している生徒も多くいます。

この設問では、複雑な資料を読み取り考えないといけないというところに課題があったと考えます。さまざまな形式の文章を読む力を伸ばしていきたいと思います。

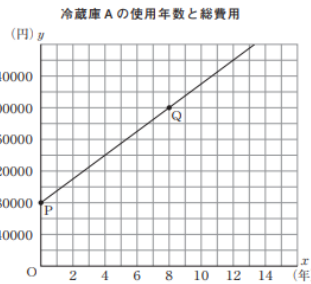
<数学>

成果や課題があった設問

【成果】

グラフ上のy座標の差を、解釈する

(1) 冷蔵庫Aを購入してx年間使用するときの総費用をy円とします。このxとyの関係を、健太さんは次のような一次関数のグラフに表しました。



このグラフにおけるx座標が0である点をP、x座標が8である点をQとします。点Pのy座標と点Qのy座標の差は、冷蔵庫Aについての何を表していますか。下のAからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 本体価格

イ 使用年数

ウ 1年間あたりの電気代

エ 購入してから8年間の電気代

オ 購入して8年間使用するときの総費用

【課題】

表から最頻値を求める問題

8 図書委員会では、生徒の読書活動の状況を調べ、図書だよりにまとめようと考えています。そこで、図書委員の航平さんと桃子さんは、全校生徒270人を対象に、最近1か月間に読んだ本の冊数と、1日あたりの読書時間が何分であるかを回答するアンケートを実施しました。

アンケートのお願い	
・最近1か月間で読んだ本は何冊ですか。	(冊)
・1日あたりの読書時間は何分ですか。	(分)

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 二人は、実施したアンケートをもとに、最近1か月間に読んだ本の冊数について、下のような表にまとめました。下の表において、読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

最近1か月間に読んだ本の冊数												
読んだ本の冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	13	114	74	30	11	7	4	4	3	4	6	270

（考察）

1次関数の文章題でy座標の意味を問う問題ですが、1次関数や連立方程式など、2年生で繰り返し学習してきた内容については一定の成果が見られました。

このことから、日頃の授業で繰り返し学習した内容は定着が図られ学習内容が身についていると考えられます。

また、左題のような日常生活にリンクした問題は定期テストでの活用問題等で扱っており、その成果とも考えられます。

	正答率	無解答率
本校	43.8	38.5
全国	57.9	21.3

（考察）

表から最も人数の多い最頻値を求める問題ですが、左題のように1年生の内容や、2年生の文字式の利用(数量関係の証明)など授業で繰り返し解いた問題は出来て、繰り返し解けなかった問題は出来ない結果となっています。今後の対策としては、少しでも多くの分野の内容を繰り返し復習することが大切と考え、単元テストの実施や1・2年生での実力テストの実施などで定期的に復習を図ることが考えられます。

<英語>

【成果】

正しい曜日を聞き取る

③（放送問題）

アメリカでホームステイ中のあなたは、天気予報を聞きながらピクニックに行く計画を立てています。ピクニックに行くのに最も適しているのは、何曜日でしょうか。下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Thursday
- 2 Friday
- 3 Saturday
- 4 Sunday

	正答率	無解答率
本校	88.5	0.8
全国	82.0	0.2

（考察）

リスニングについては、日頃から積極的に英語で発問をしたり、NETの授業でもネイティブの英語を聞き、理解しようとしています。継続して行うことで、少しずつこの問題のようにまとまりのある英文も理解できるようになりました。

今後も日頃から英語に慣れさせ、様々な英文を聞き取れるように、丁寧な指導を行っていきます。

【課題】

与えられた情報で英作文をする

（3）次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット（pet）の有（○）無（×）	×

	正答率	無解答率
本校	47.7	6.9
全国	53.5	6.4

（考察）

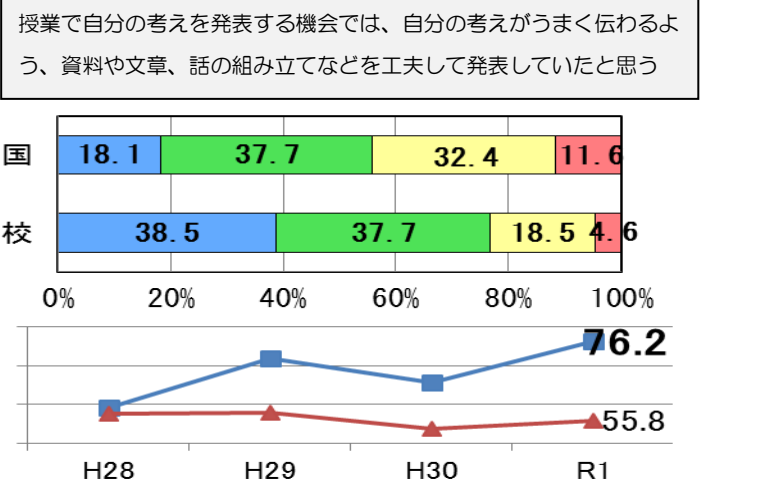
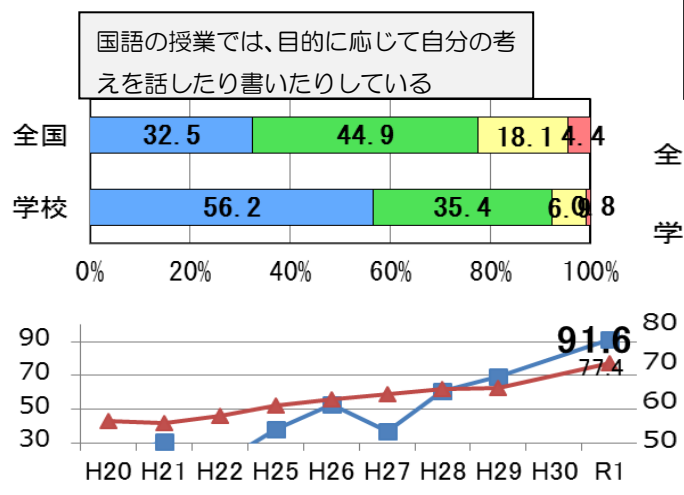
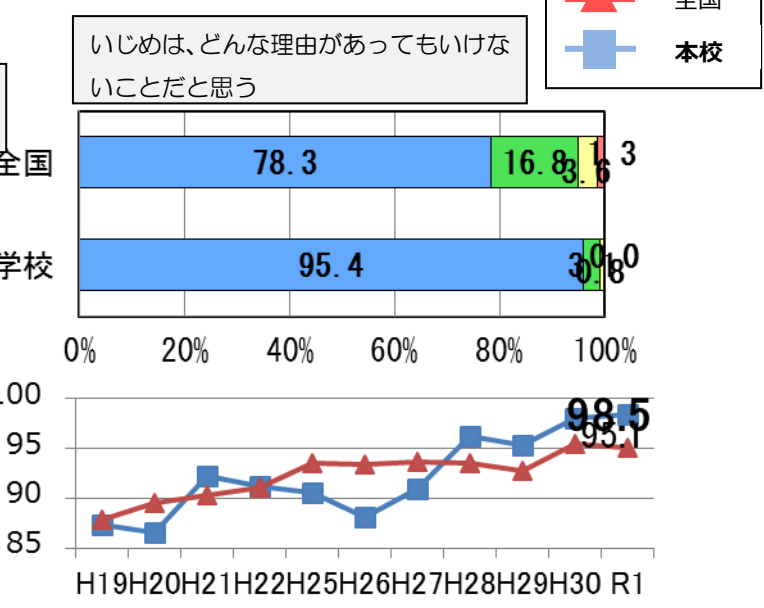
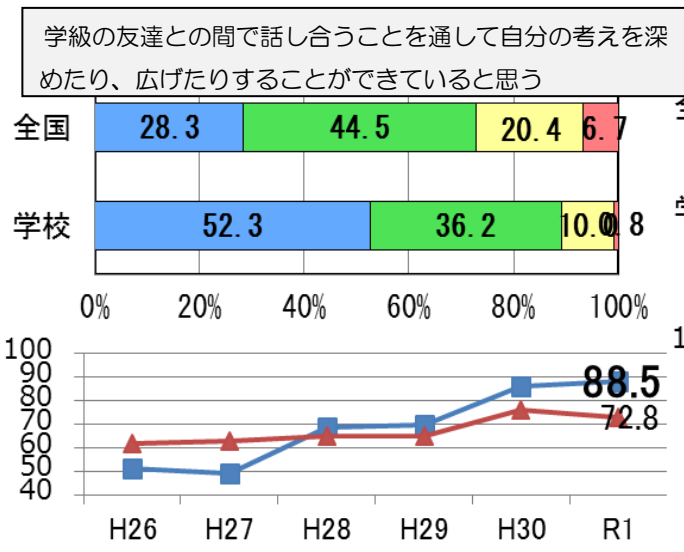
与えられた情報を見て、どの文法・表現を用いれば、正しい英作文を書くことができるか、ということを判断することができなかったという点が課題とされます。

日々の授業でも自分たちが知っている単語や文法で英作文を行う練習をしていますが、さらに反復が必要だと思うので、今後も継続して練習を行っていきます。

質問紙に関する調査

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。

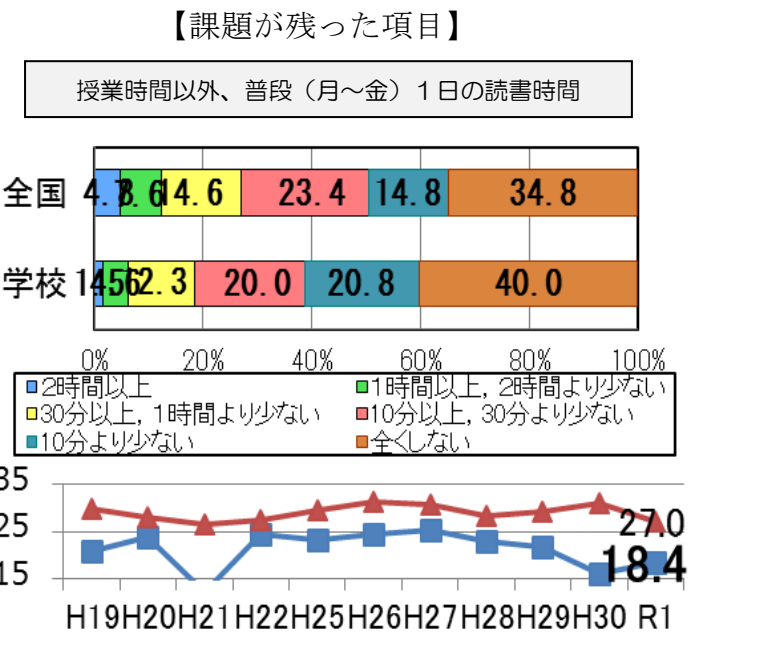
【成果のあった項目】



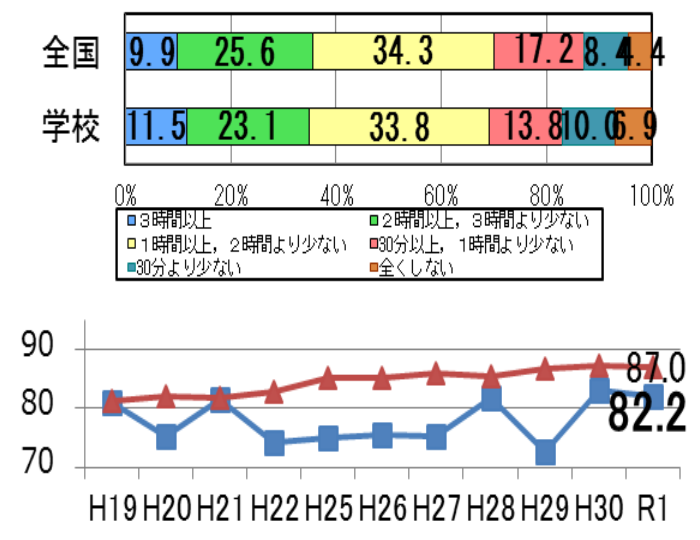
（考察）本校ではこれまで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善に取り組んできたところですが、とりわけ、グループでお互いに意見を交流し考え合う時間を大切にしてきました。

その成果として、「友達と話し合って考えを深めたり・・・」や「授業で工夫して発表する」等の項目で、大きな伸びを示し、全国を上回っています。

また、1枚目に示した「学校の規則を守る」や上記の「いじめはいけない」など、非常に高い数値になっていて、規範意識の高い落ち着いた学校づくりが出来ていると考えています。



授業時間以外、普段（月～金）1日の勉強時間（30分以上）



（考察）朝読書に取り組み、言語活動を大切にした授業改善を進めているにもかかわらず、学力調査の結果になかなか反映されない原因として、やはり家庭での学習の不足や読書の習慣がついていないことにあると思われます。

特に、勉強が苦手な生徒にとっては、授業ではわかっているつもりでも、その知識や技能が定着しきれていないことが多いのではないかと考えられます。

引き続き、家庭学習に必要な教材の提供や働きかけをしていきますので、ご家庭でも、読書の勧めも含めて、ご協力お願いします。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

- （1）授業改善について
これまでの授業改善をさらに継続、強化していくとともに、勉強が苦手な生徒を伸ばすために、基礎・基本の定着を目指した単元ごとの「小テスト」を授業のなかで取り組んでいきます。学力の定着をめざすために、「小テスト」には一定の合格ラインを設定し、結果に応じて補習を実施します。
また、授業の最後に行う「ふりかえり」は、昨年度まで各教科、そのやり方について試行錯誤してきた経過がありますが、今年度は自分で「書く」ことを基本に、「何がわかったか？」「何が出来るようになったか？」について、きちんと把握できるよう、今まで以上に各教科、大事にしていきたいと考えています。
- （2）学習規律について
チャイム席の取り組みをはじめ、学習規律は授業改善の基本であると考えています。幸い、本校では生徒たちの規範意識も非常に高く、授業中に居眠りをするような生徒もまったくいません。
また、班作りを大切にした学級集団作りにも、各学年、各学級、担任を中心に足並みを揃えて取り組んできました。現在の良い雰囲気、状態を継続できるよう、今後とも学校全体で取り組んでいきたいと思っています。
- （3）家庭学習について
ここ数年、家庭学習の不足は本校の大きな課題のひとつです。これまでも週末宿題、家庭学習の手引きの配布、テスト直しノート、テスト前の自主学習ノート等の取り組みをおこなってきましたが、やはり、特に勉強が苦手な生徒は、家庭での学習の方法がわからない等の悩みを抱えているようです。
学校としては、これまでの取り組みを継続するとともに、今年度から、単元計画（単元ごとに学習する予定表）を教室に掲示し、生徒たちに意識させ、家庭での予復習につなげようとしているところです。
保護者の皆様におかれましても、家庭での学習が、知識や技能を定着させるためには必要不可欠であるということをご理解いただき、ご協力、よろしくお願いいたします。